

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(本部事務局)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	随意契約(不落随契)	
契約の件名及び数量	独立行政法人国立文化財機構海外旅行保険契約	
契約締結日	令和2年3月10日	
契約の相手方の商号又は名称等	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年2月12日 関係書類提出締切	
	令和2年2月17日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札後業務開始までの準備期間を1カ月間以上確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	3者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前年度同様、A～Dの全ての等級について参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	令和2年度東京国立博物館茶室庭園管理業務委託	
契約締結日	令和2年2月21日	
契約の相手方の商号又は名称等	公益財団法人シルバー人材センター	
入札経緯及び結果	令和2年1月16日 入札公告	
	令和2年2月14日 関係書類提出締切	
	令和2年2月21日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札後業務開始までの準備期間を約2カ月間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	4者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前年度同様、A～Dの全ての等級について参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	オンライン通信機能入金機による現金振り込み及び集金業務	
契約締結日	令和2年2月21日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本通運株式会社関東警送支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月16日 入札公告	
	令和2年2月14日 関係書類提出締切	
	令和2年2月21日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札後業務開始までの準備期間を1カ月間以上確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明書受領者が1者であった。
⑦競争参加資格の拡大	×	参加資格を再度検討し、現金取扱業務の保安上、いずれも不可欠な要件であることを確認した。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館施設貸出対応業務委託	
契約締結日	令和2年3月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社フクシ・エンタープライズ	
入札経緯及び結果	令和2年2月5日 入札公告	
	令和2年3月6日 関係書類提出締切	
	令和2年3月16日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札後業務開始までの準備期間を2週間以上確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	3者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前年度同様、A～Dの全ての等級について参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(京都国立博物館)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	京都国立博物館電気設備保全業務	
契約締結日	令和元年11月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般財団法人関西電気保安協会	
入札経緯及び結果	令和元年9月20日 入札公告	
	令和元年10月30日 関係書類提出締切	
	令和元年11月6日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は電気事業法第42条第1項の規程により定めた国立文化財機構保安規程に基づいた電気設備の保守業務であり仕様書の見直しは難しく、従前と同じとなった。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間として4ヶ月以上確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を40日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
請負の性格上、本件については仕様書の見直しが難しく、期間を長くすることで周知の機会を広げつつもだが、今後は類似業種に公告が出ていることをお知らせする方法を考えたい。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財写真原板高精細画像デジタル化作業 一式	
契約締結日	令和2年3月9日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士フイルムイメージングシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年2月7日 入札公告	
	令和2年2月27日 関係書類提出締切	
	令和2年3月5日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	受託者側がオンラインストレージサービスの準備をする条件を使用から削除した(機構のDOXが使用可能になったため)
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約日から保守業務の開始日まで23日間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書受領後辞退した会社に電話にて聞き取りを行った。仕様を満たす非接触型スキャナーを用意できないためとのこと。
⑦競争参加資格の拡大	○	参加資格の業務実績の「過去2年以内」の制限を削除した。昨年度同様に予定価格に対応する格付け等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館ネットワーク・システム等保守 一式	
契約締結日	令和2年3月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト	
入札経緯及び結果	令和2年2月19日 入札公告	
	令和2年3月9日 関係書類提出締切	
	令和2年3月16日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成30年度より事前公募型随意契約から一般競争入札に変更した。 ネットワーク保守に関わる業務のため、個人情報の取扱についての項目を仕様書に追加した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約日から保守業務の開始日まで14日間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書受領後辞退した会社に電話にて聞き取りを行った。既設のサーバ等機器(日立製)の保守について、対応が困難であるとのこと。
⑦競争参加資格の拡大	○	昨年度同様に予定価格に対応する格付け等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	8	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館X線分析顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。



別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	9	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館レーザーラマン分光分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館蛍光X線分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館分析走査電子顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	12	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館ATOS Triple Scan 16Mシステム、ATOS Professionalソフト保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	13	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館局所排気システム保守業務 一式	
契約締結日	令和2年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	令和2年1月10日 入札公告	
	令和2年1月30日 関係書類提出締切	
	令和2年2月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1カ月以上)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、全ての等級が参加可能となっている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	14	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館収蔵庫IPMメンテナンス業務 一式	
契約締結日	令和2年3月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社タクト	
入札経緯及び結果	令和2年2月6日 入札公告	
	令和2年2月26日 関係書類提出締切	
	令和2年3月11日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後は見直しを検討する
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(3週間程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	15	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館露出展示資料IPMメンテナンス業務 一式	
契約締結日	令和2年3月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社タクト	
入札経緯及び結果	令和2年2月6日 入札公告	
	令和2年2月26日 関係書類提出締切	
	令和2年3月11日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後は見直しを検討する
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(3週間程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	16	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財建造物写真ガラス乾板 保護修復及びデジタル化業務	
契約締結日	令和元年11月7日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社堀内カラー アーカイブサポートセンター	
入札経緯及び結果	令和元年10月11日 入札公告	
	令和元年11月1日 関係書類提出締切	
	令和元年11月7日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	本契約は年度末までに予定数量分を完了する契約であることから、業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	3社に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	A～Dの全ての等級について、参加資格を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。



別紙

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	17	
入札及び契約方式	事前公募	
契約の件名及び数量	研究データベースシステム保守業務	
契約締結日	令和2年3月30日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社環境総合研究所	
入札経緯及び結果	令和2年2月3日9日 入札公告	
	令和2年3月30日 関係書類提出締切	
	令和2年3月30日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで準備期間を十分確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	A～Dの全ての等級について、参加資格を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。